



『老人大学院ハーモニカグループ』のみなさん

村には、向学心に燃えるお年寄りの方や女性のための大学があります。また、人びとはさまざまな文化やスポーツ活動を行っています。社会教育や文化振興のために使われたお金は110万円、村人の保健体育の



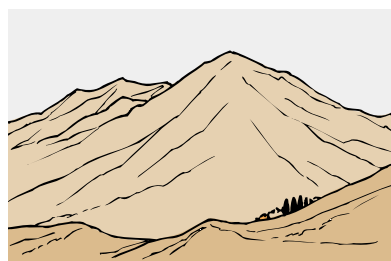
給食の様子（幌別小学校）

道路などの公共施設を整備するためには、たくさんのお金が必要です。



4月にオープンした『ふぁれすと鉦山』

の貯金は20万円ほどたまっていきます。



村には自然が豊かな地区があり、そこに宿泊して自然と触れ合ったり、学習したりできる施設を建てました。新しい図書館を建てるため

ために使われたお金は20万円です。

村の財政は厳しく、今後も職員数の削減や、いろいろな事務や事業の見直しを、村人たちと話し合いながら進めていこうと考えています。

国や道が奨励する事業や村と共同の責任で行う事務・事業などについて、村に交付されたお金は630万円です。

この2つだけで、村の収入の49分になります。

村人が村に納めた税金は970万円です。また、全国の方が国税として納めた中から、一定のルールに基づき村に配分される地方交付税は1千20万円でした。

村には今後、返して行かなければならないお金が8千万円（水道会計を除く全会計の元金残高）あります。でも、返すお金の半分近くは、国から地方交付税という形で入ってきます。

新たに借り入れたお金：480万円  
この1年間で返したお金：元金280万円・利子150万円

でも、村には一度に払う余裕がありません。また、整備した公共施設は今後この村に引越してくる人たちも利用できます。だから、国などからお金を借りて事業を行っています。

【表6】市債の状況

区分	12年度末残高	13年度中償還額	13年度中借入額	13年度末残高	
一般会計	272億8,261万円	15億4,485万円	26億,520万円	283億4,296万円	
特別会計	学校給食事業	5,396万円	603万円	0円	4,793万円
	下水道事業	142億1,629万円	3億3,824万円	15億3,070万円	154億,875万円
	簡易水道事業	9,384万円	1,480万円	0円	7,904万円
合計	416億4,670万円	19億,392万円	41億3,590万円	438億7,868万円	

【表5】市有財産の内訳（平成13年度末現在）

区分	面積・金額	
土地	565万4,100㎡	
建物	27万3,800㎡	
基金など	現金	35億3,363万円
	土地	14万6,800㎡
その他	債権など	10億5,430万円
	土地	6万4,300㎡